

日本アジア投資株式会社 2019年3月期 第3四半期 決算補足資料

決算発表日：2019年2月14日

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準、または、従来連結基準)にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 2019年3月期第3四半期の実績(従来連結基準)	P4
3. 2019年3月期の通期業績見込(従来連結基準)	P9
4. 営業活動の状況	P10
5. 参考情報	P21

✓ 2019年3月期第3四半期累計実績(従来連結基準)

- ・ 前年同期比61.5% 減収、最終赤字1.9億円
- ・ 前年同期の大型プロジェクト売却の反動

✓ 2019年3月期 通期業績見込(従来連結基準)

- ・ 2018年12月25日 期初見込値を下方修正
- ・ 営業収益見込:33.3%減、最終利益見込:期初見込を維持
- ・ 今後、第4四半期の株式売却益が下振した場合においても修正後見込を達成するよう、メガソーラープロジェクト売却益を積み増す計画

✓ 営業活動の成果

- ・ 2018年10月30日 VALUENEX(株) 新規上場
- ・ 2018年10月31日 事業承継型バイアウトファンド:総額30億円達成
- ・ 期中売電開始プロジェクト:6件、12.5MW
- ・ 当社初となる植物工場への投資実行

2. 2019年3月期 第3四半期の実績（従来連結基準）



業績数値

ハイライト

P5

営業収益・営業原価内訳

P8

2. 2019年3月期 第3四半期の実績-ハイライト P/L（従来連結基準）



	2018/3期 3Q 実績		2019/3期 3Q 実績			通期業績見込値 (2018/12/25 発表値)	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率	金額 (百万円)	進捗率
営業収益	3,154	100.0%	1,214	100.0%	△61.5%	2,300	52.8%
営業原価	1,773	56.2%	857	70.6%	△51.6%	1,100	78.0%
営業総利益	1,381	43.8%	356	29.4%	△74.2%	1,200	29.7%
販管費	922	29.2%	816	67.2%	△11.5%	1,100	74.2%
営業利益	458	14.5%	△459	—	—	100	—
経常利益	334	10.6%	△512	—	—	0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	240	7.6%	△197	—	—	470	—
営業収益のうち、安定収益(※)	290	—	304	—	4.7%	330	92.2%
販管費に占める安定収益(※)の割合	31.5%	—	37.3%	—	—	30.0%	—

- ✓ 前年同期比: 61.5%減収、最終赤字1.9億円、前年同期に大型案件含む4件・36.0MWのプロジェクトを売却した反動減
- ✓ 業績見込比: 営業収益進捗率52.8%、最終利益差異△6.7億円
業績見込値の達成に向けてプロジェクトの売却を積み増す計画
- ✓ 安定収益: 建設中案件の費用を売電収益で補い前年同期比増加

(※) 安定収益: 管理報酬、プロジェクト投資による持分損益のうち売却益・補助金収入以外の収益、プライベートエクイティ投資の利息・配当収入の合計額。

2. 2019年3月期 第3四半期の実績-ハイライト B/S（従来連結基準）



	2018/3期末実績		2019/3期 3Q 実績		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率
総資産	19,220	100.0%	16,646	100.0%	△13.4%
うち 現預金	7,308	38.0%	4,931	29.6%	△32.5%
うち 営業投資有価証券 (プロジェクト投資)	3,582	18.6%	4,836	29.1%	35.0%
うち 営業投資有価証券 (プライベートエクイティ 引当後)	6,030	31.4%	5,212	31.3%	△13.6%
借入金	11,954	62.2%	9,784	58.8%	△18.2%
自己資本	6,545	34.1%	6,255	37.6%	△4.4%
現預金+プロジェクト投資△借入金	△1,063	-	△16	-	-

- ✓ プロジェクト投資残高：投資実行と売却抑制により残高が増加
- ✓ 借入金残高：97億円、ピーク時残高（社債含む）から79%削減
- ✓ 財務バランス：現預金とプロジェクト投資の合計と、借入金残高の
バランスは△16百万円、前期末から10.5億円改善

2. 2019年3月期 第3四半期の実績-ハイライト C/F(従来連結基準)



(単位:百万円)	18/3	18/3(3Q)	19/3(3Q)
営業活動によるCF	1,870	△180	994
投資活動によるCF	238	197	703
財務活動によるCF	△2,173	△2,173	△2,173
CF増減額	△57	△2,155	△491
期末残高	4,757	2,659	4,265

- ✓ 営業CF: 損失計上的一方、ファンドの分配金や還付税金の受領により9.9億円の収入
- ✓ 財務CF: 借入金の返済により21.7億円の支出

2. 2019年3月期 第3四半期の実績-営業収益・原価 内訳 (従来連結基準) JAIC

(単位:百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2018/3期 3Q 実績	2019/3期 3Q 実績	2018/3期 3Q 実績	2019/3期 3Q 実績	2018/3期 3Q 実績	2019/3期 3Q 実績
営業収益	3,154	1,214	954	1,055	2,199	158
管理運営報酬等	208	187	206	186	2	1
成功報酬	86	-	86	-	-	-
営業投資有価証券売却高	1,457	602	627	579	830	23
組合持分利益等	1,339	381	13	267	1,325	113
利息・配当収入	34	10	11	9	23	1
その他営業収益	27	32	9	13	18	19
営業原価	1,773	857	951	841	821	16
営業投資有価証券売却原価	1,219	272	400	255	818	16
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	534	540	534	540	-	-
組合持分損失等	15	40	12	40	2	-
その他営業原価	4	4	4	4	-	-
営業総利益	1,381	356	2	213	1,378	142

- ✓ プライベートエクイティ投資: 他社の運営するファンドからの持分利益の増加により、前年同期から増収・増益
- ✓ プロジェクト投資: 前年同期は大型案件含む4件・合計36.0MWの売却や補助金収入あり、反動で2019/3期3Qは減収・減益

3. 2019年3月期の業績見込値(従来連結基準)



従来連結基準	A	B	C	
	2019/3期通期見込 期初見込値	2019/3期通期見込 2018/12/25発表値	2019/3(3Q)実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	進捗率 (C/B)
営業収益	3,450	2,300	1,214	52.8%
営業原価	1,650	1,100	857	78.0%
営業総利益	1,800	1,200	356	29.7%
販管費	1,100	1,100	816	74.2%
営業利益	700	100	△459	—
経常利益	550	0	△512	—
親会社に帰属する当期純利益	470	470	△197	—

- ✓ 2018年12月25日 期初の業績見込を下方修正
株式売却高の減少に伴い営業収益見込額は33.3%減少、一方、最終利益は、特別利益の発生などにより期初見込を維持
- ✓ 今後、第4四半期の株式売却が下振れした場合においても修正後の見込値を達成するよう、プロジェクトの売却益を積み増す計画

業績見込値は現時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

4. 営業活動の状況



営業活動の状況

プライベートエクイティ投資

P11

プロジェクト投資

P15

事業承継ファンド 総額30億円達成

～国内中小企業の事業承継問題解決と地域創生を目指す～

ファンド名	サクセッション1号投資事業有限責任組合
運用者	AJキャピタル株式会社 (当社・あおぞら銀行が50%ずつ出資の合併会社)
出資者	AJキャピタル、あおぞら銀行、愛媛銀行、FPG きらやか銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行 北都銀行、宮崎太陽銀行、ゆうちょ銀行、その他 当社
ファンド総額	30億円 (2018年10月末時点)
投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業
設立日	2017年6月26日

VALUENEX株式会社

2018年10月30日 東証マザーズ上場

～世界に氾濫する情報から”知”を創造していく企業～

事業内容：

特許・文書解析ツール「TechRadar」、
「DocRadar」のASP (Application
Service Provider)型ライセンスサービ
ス及びこれを用いたコンサルティング
サービスの提供

初値倍率：10.8倍



投資実行額 合計 4社、1.3億円



株式会社リグア

接骨院・整骨院向け各種ソリューション
提供でトップクラスシェア



患者情報管理システム
「LigooPOS&CRM」



電気施術機器
「EMS-indepth」



中元宜和

瀋陽中元宜和 生物科技有限公司

医療機関向けの人工授精用医療機器の
開発・生産を行うスタートアップ企業



卵細胞収集器



人工受精管

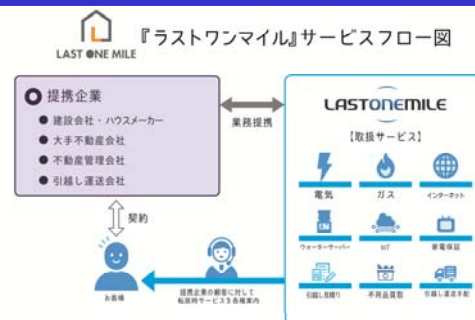


胚移植導管



株式会社ラストワンマイル

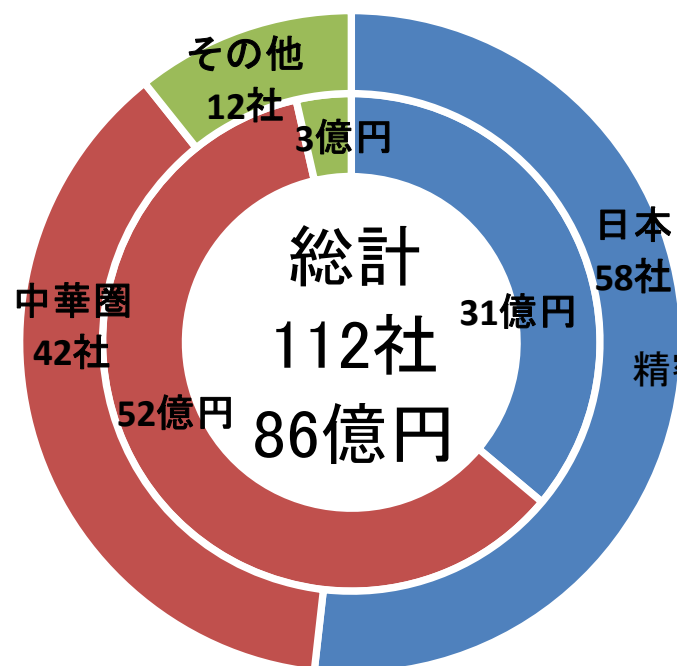
ライフライン・ITサービス・IoT・インフラをワン
ストップで提供するラストワンマイル事業等



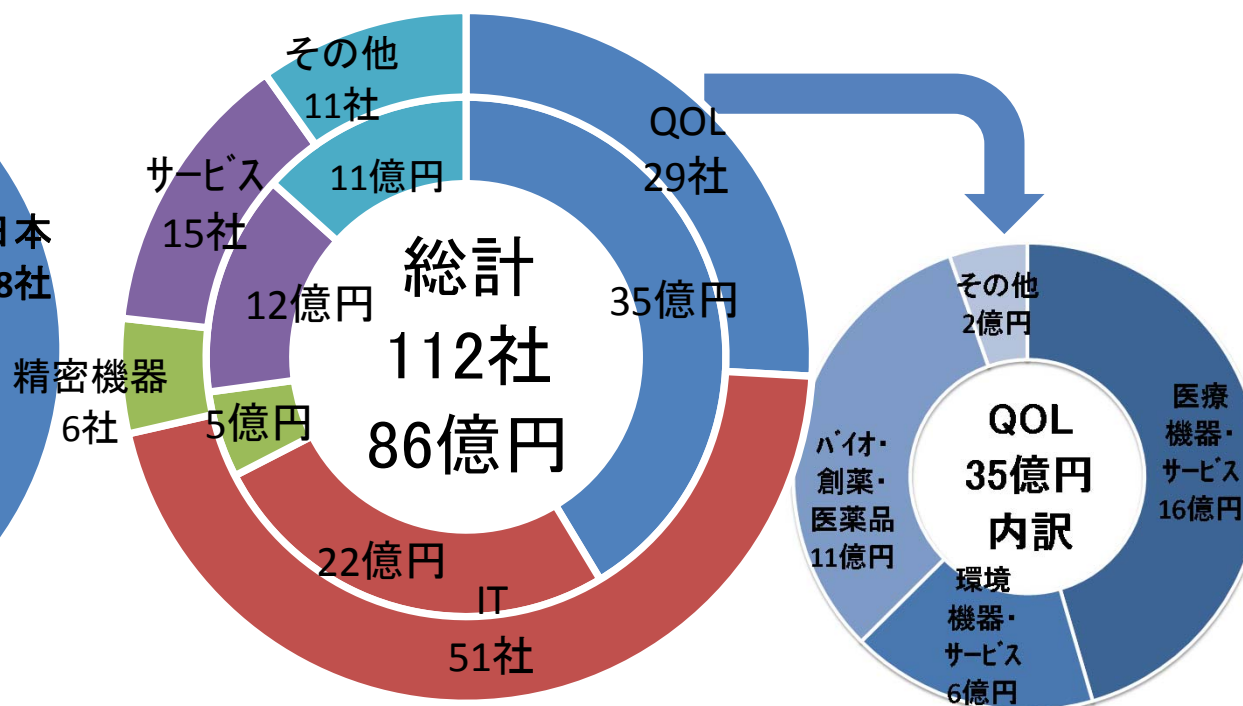
この他
IoT関連1社

投資残高 合計 112社、86億円

【地域別内訳】



【業種別内訳】



1社当たり平均投資金額:

日本 53百万円、中華圏 122百万円／QOL 122百万円、IT 43百万円

投資実行額 合計 8件、26.8億円

No.	所在場所	プロジェクト種類	発電容量	特徴
1	三重県	風力発電所	最大25.2MW	追加投資
2	北海道	太陽光発電所	2.0MW	新規案件
3	岐阜県	太陽光発電所	20.0MW	短期回収目的 (期中回収済み)
4	青森県	バイオガス発電所	0.03MW	新規案件
5	岩手県	太陽光発電所	2.7MW	追加投資
6	兵庫県	植物工場	—	当社初案件
7	熊本県	太陽光発電所	11.8MW	新規案件
8	福島県	太陽光発電所	2.7MW	新規案件

4. 営業活動の状況 -プロジェクト投資 再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2018年12月末)



メガソーラープロジェクト

売電中	14件	34.4MW
建設・企画	7件	61.4MW
合計	21件	95.8MW
(うち当社出資持分)		50.5MW
上記の他		
売却・他回収済	19件	112.7MW

その他再生可能エネルギー

木質バイオマス(売電中)	1件	2.0MW
バイオガス(売電中)	1件	0.03MW
バイオガス(建設中)	1件	1.6MW
風力(企画)	1件	最大25.2MW

熊本県 太陽光
1件 3.1MW
1件 11.8MW

香川県 太陽光
4件 8.7MW

青森県
バイオガス
1件 0.03MW

岩手県 太陽光
4件 10.0MW

北海道 太陽光
1件 4.4MW
2件 17.7MW

宮城県 太陽光
1件 2.4MW

愛知県 太陽光
1件 2.3MW

福島県 太陽光
1件 1.2MW
2件 5.1MW

茨城県 太陽光
1件 2.3MW

東京都 バイオガス
1件 1.6MW

三重県
木質バイオマス 1件 2.0MW
太陽光 2件 26.8MW
風力 1件 最大25.2MW

※ 各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

4. 営業活動の状況

プロジェクト投資 -再生可能エネルギープロジェクト売電開始事例 1



香川県さぬき市中王田池・東王田池 水上発電所



中王田(なかおうだ)池ソーラー発電所

売電開始 : 2018年4月

最大出力 : 約2.4MW

(※太陽電池パネル設置容量ベース)

固定買取価格 : 36円/kWh(税別)



東王田(ひがしおうだ)池ソーラー発電所

売電開始 : 2018年7月

最大出力 : 約2.4MW

(※太陽電池パネル設置容量ベース)

固定買取価格 : 36円/kWh(税別)

- 水上に建設することで、パネル設置面を平坦にするための、造成工事のコストが不要
- 周辺に遮蔽物が無いため日照条件が良好
- 水面の冷却作用でパネルの温度を低く保ち、発電効率を維持

4. 営業活動の状況

プロジェクト投資 - 再生可能エネルギープロジェクト売電開始事例 2



メガソーラーシェアリング発電所



一関市吉高太陽光発電所

2018年6月 売電開始

最大出力: 約2.6MW (太陽電池パネル設置容量ベース)



一関市鈴ヶ沢太陽光発電所

2018年10月 売電開始

最大出力: 約2.7MW (太陽電池パネル設置容量ベース)

- 当社、リニューアブル・ジャパン(株)、東急不動産(株)の共同出資プロジェクト
- (株)東北銀行からプロジェクトファイナンスにより調達、三菱電機システムサービス(株)による施工
- 太陽光を農業と発電で「シェア」する「ソーラーシェアリング」
- 農地に支柱を立て一定の間隔を空けてパネルを設置、その下で大型農機で大麦を栽培
- 一般に、農地は平坦なため造成が殆ど不要、日照条件も良く、太陽光発電の適地
- 発電事業収入の一部を20年間に亘り営農支援費用として支払い、地域創生に貢献

4. 営業活動の状況

プロジェクト投資 -再生可能エネルギープロジェクト売電開始事例 3



加美(かみ)ソーラーパーク
(宮城県加美町)

2018年10月 売電開始

最大出力: 約2.4MW (太陽電池パネル設置容量ベース)

固定買取価格 : 36円/kWh(税別)

通常は南向きの太陽電池パネルを東西向きに
山折り形にして多数配置し、発電量を20%増加

青森東北町発電所
(青森県上北郡東北町)

2018年11月 売電開始

最大出力: 約30kW

固定買取価格 : 39円/kWh(税別)

「ながいも」の廃棄部分(残渣)をメタン発酵させ
て生成するバイオガスを原動力とする発電所

2018年10月 植物工場第1号案件へ投資



(注)画像はイメージです。

建設地	兵庫県
敷地面積	約820m ²
工場タイプ	完全閉鎖型
栽培品目(予定)	フリルレタス等
建設開始	2018年10月
完成予定時期	2019年2月中旬
本稼働予定時期	2019年4月以降

- 植物工場の建設・運営に実績のあるベンチャー企業と協業
- 運営はベンチャー企業が担当し、当社は、建設・運営資金の一部を出資

ファンド運用残高	P22
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P23
主要データの推移	P24
営業収益・営業原価 内訳(従来連結基準)	P26
プロジェクト総額	P27
プロジェクト累計収入見込み額の試算	P28
再生可能エネルギープロジェクト 投資案件一覧	P29
JAICの強み	P30
収益構造	P31
会社概要	P33

ファンド運用残高

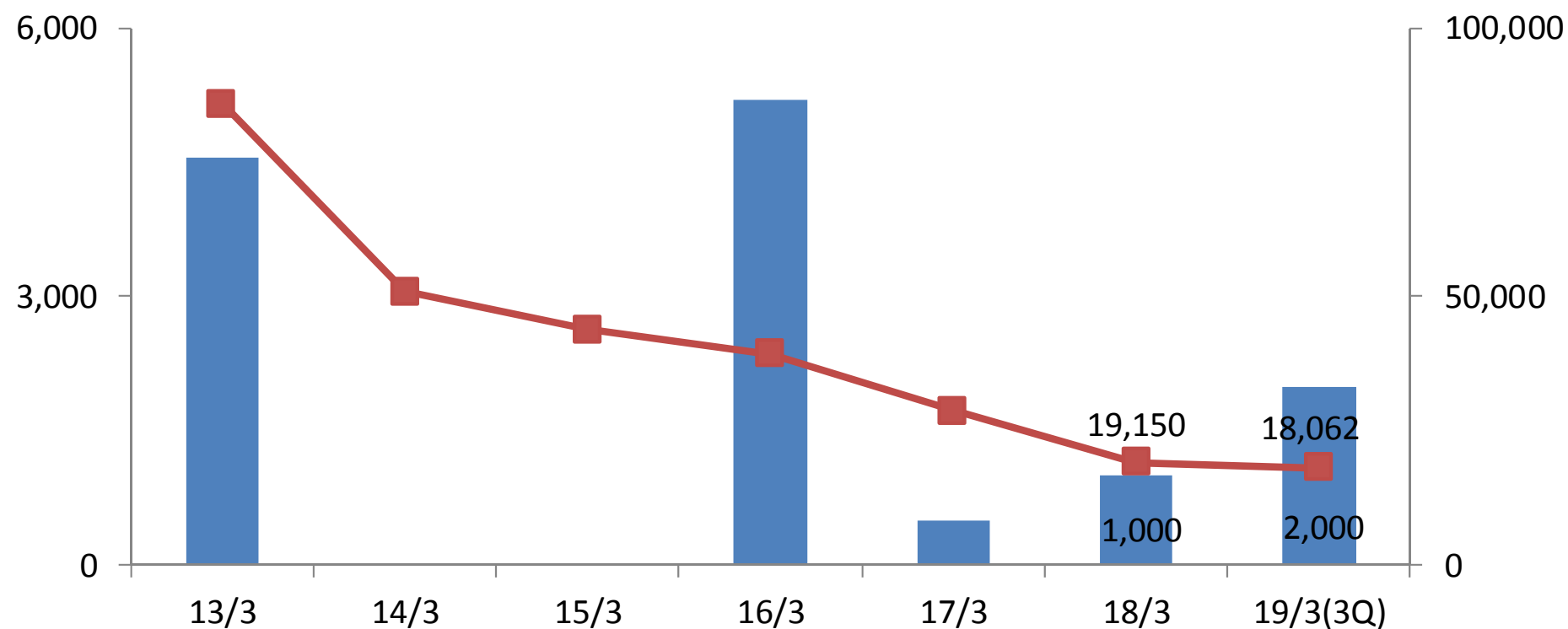


ファンド設立
資産増加額
単位:百万円

■ ファンド設立・資産増加額

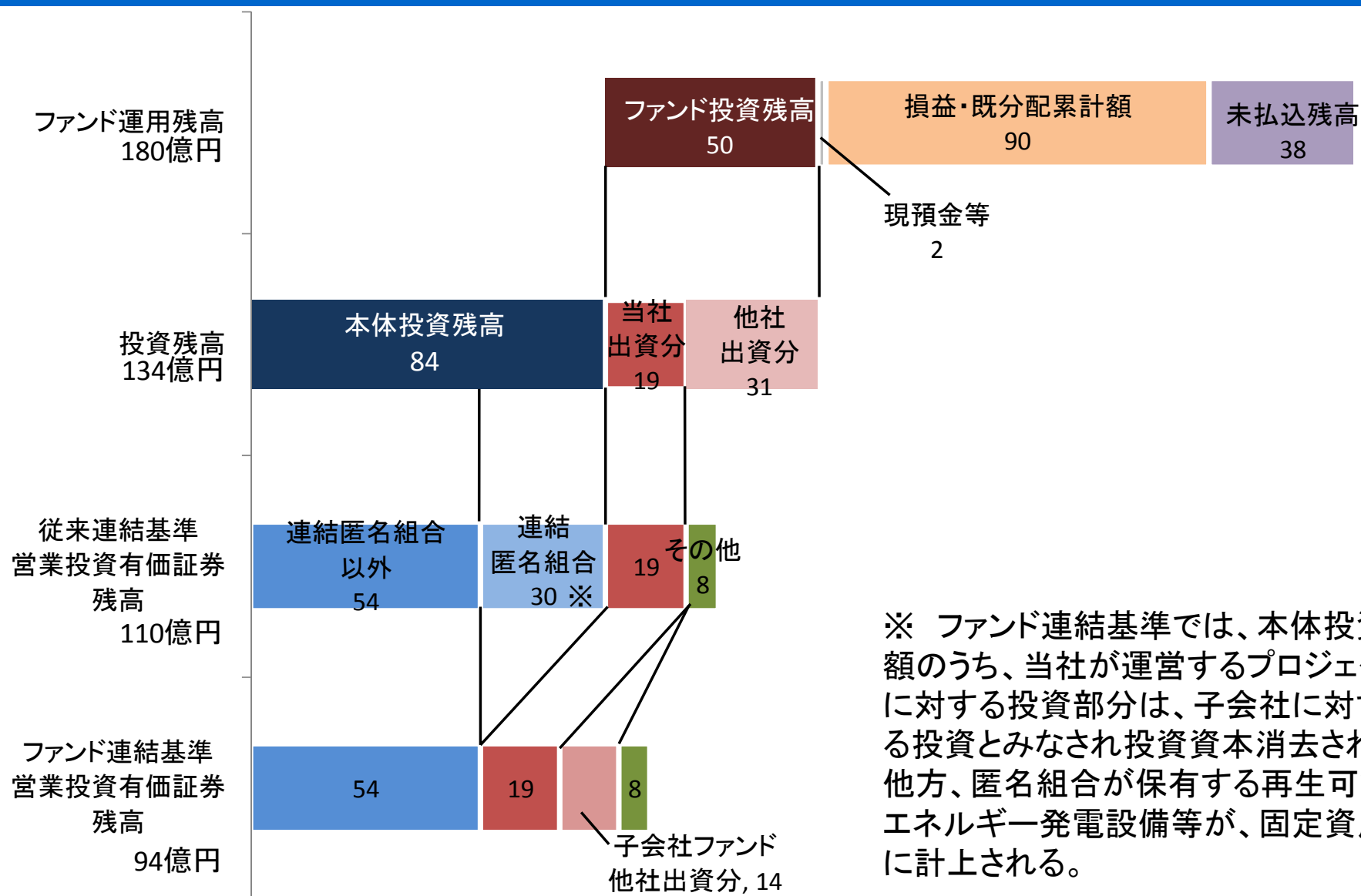
—■— ファンド運用残高

ファンド運用残高
単位:百万円



- ✓ 2018年12月末までの事業承継型バイアウトファンド資産増加額は20億円
- ✓ 運用を他社に引き継いだファンドや減額したファンドの影響を受け、運用残高は減少

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(3Q)
ファンド設立・資産増加額	4,548	–	–	5,201	500	1,000	2,000
ファンド運用残高	85,873	50,888	43,897	39,335	28,753	19,150	18,062
うち 当社グループ出資額				14,004	9,427	5,867	5,377
投資実行額	4,746	4,189	2,728	4,093	4,315	3,887	2,819
投資残高	33,886	25,862	19,722	18,783	16,558	13,981	13,394

主要データの推移 ②



・業績、財務状況（従来連結基準）

(単位: 百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(3Q)
業績							
営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403	1,214
営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	2,328	356
販売費及び一般管理費	2,000	1,621	1,433	1,472	1,339	1,311	816
営業利益	△1,823	852	△550	82	836	1,017	△459
経常利益	△2,612	374	△610	612	726	954	△512
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,575	462	△850	597	553	874	△197
財務状況							
現預金	8,550	10,428	9,437	8,202	6,213	7,308	4,931
営業投資有価証券(プロジェクト投資)	–	608	1,337	3,722	4,081	3,582	4,836
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ)	15,452	12,380	10,364	8,226	7,356	6,030	5,212
借入金・社債・予約権付社債	25,433	24,010	20,193	16,910	14,128	11,954	9,784
自己資本	1,565	2,573	3,373	4,976	5,686	6,545	6,255
総資産	28,272	27,302	24,396	22,680	20,305	19,220	16,646

営業収益・営業原価 内訳 (従来連結基準)



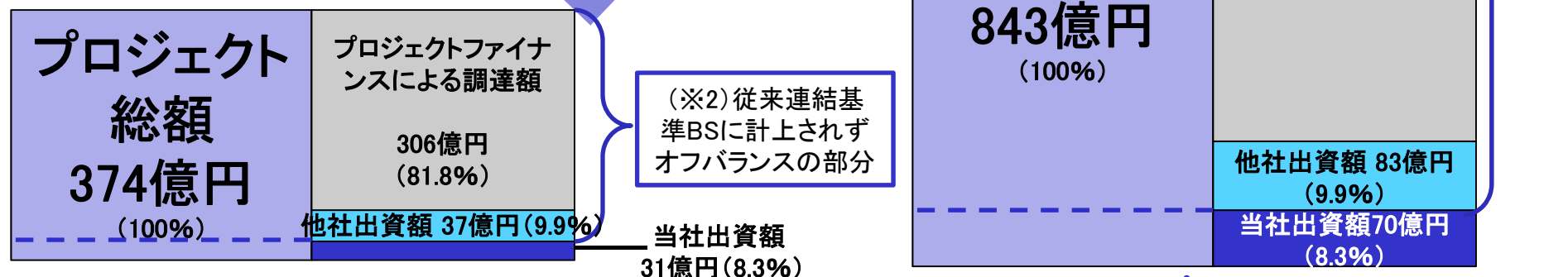
(単位:百万円)		13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	18/3(3Q)	19/3(3Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務									
	管理運営報酬等	815	733	571	441	364	277	208	187	△10.2%
	成功報酬	37	132	63	288	101	86	86	—	—
	営業収益	852	865	634	729	466	364	294	187	△36.5%
	営業原価	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業総利益	852	865	634	729	466	364	294	187	△36.5%
2.	投資業務									
	営業投資有価証券売却高	2,411	4,656	3,651	2,954	2,275	3,219	1,457	602	△58.7%
	組合持分利益等	194	357	100	295	1,128	1,612	1,339	381	△71.5%
	利息・配当収入	95	121	93	49	30	64	34	10	△70.2%
	営業収益	2,701	5,134	3,844	3,300	3,434	4,897	2,831	994	△64.9%
	営業投資有価証券売却原価	1,385	2,133	1,767	1,863	1,423	2,469	1,219	272	△77.7%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	2,038	1,480	1,704	569	274	562	534	540	1.1%
	組合持分損失等	158	52	168	47	46	36	15	40	162.2%
	営業原価	3,582	3,666	3,640	2,481	1,744	3,069	1,768	852	△51.8%
	営業総利益	△880	1,468	203	818	1,690	1,827	1,062	141	△86.7%
3.	その他									
	営業収益	229	154	53	13	25	142	27	32	18.1%
	営業原価	25	15	9	7	6	5	4	4	17.4%
	営業総利益	204	139	44	5	19	136	23	27	18.3%
合計										
	連結営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403	3,154	1,214	△61.5%
	連結営業原価	3,607	3,681	3,650	2,488	1,750	3,074	1,773	857	△51.6%
	連結営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	2,328	1,381	356	△74.2%

プロジェクト総額



長期保有予定プロジェクトの プロジェクト総額 見込値(※1)

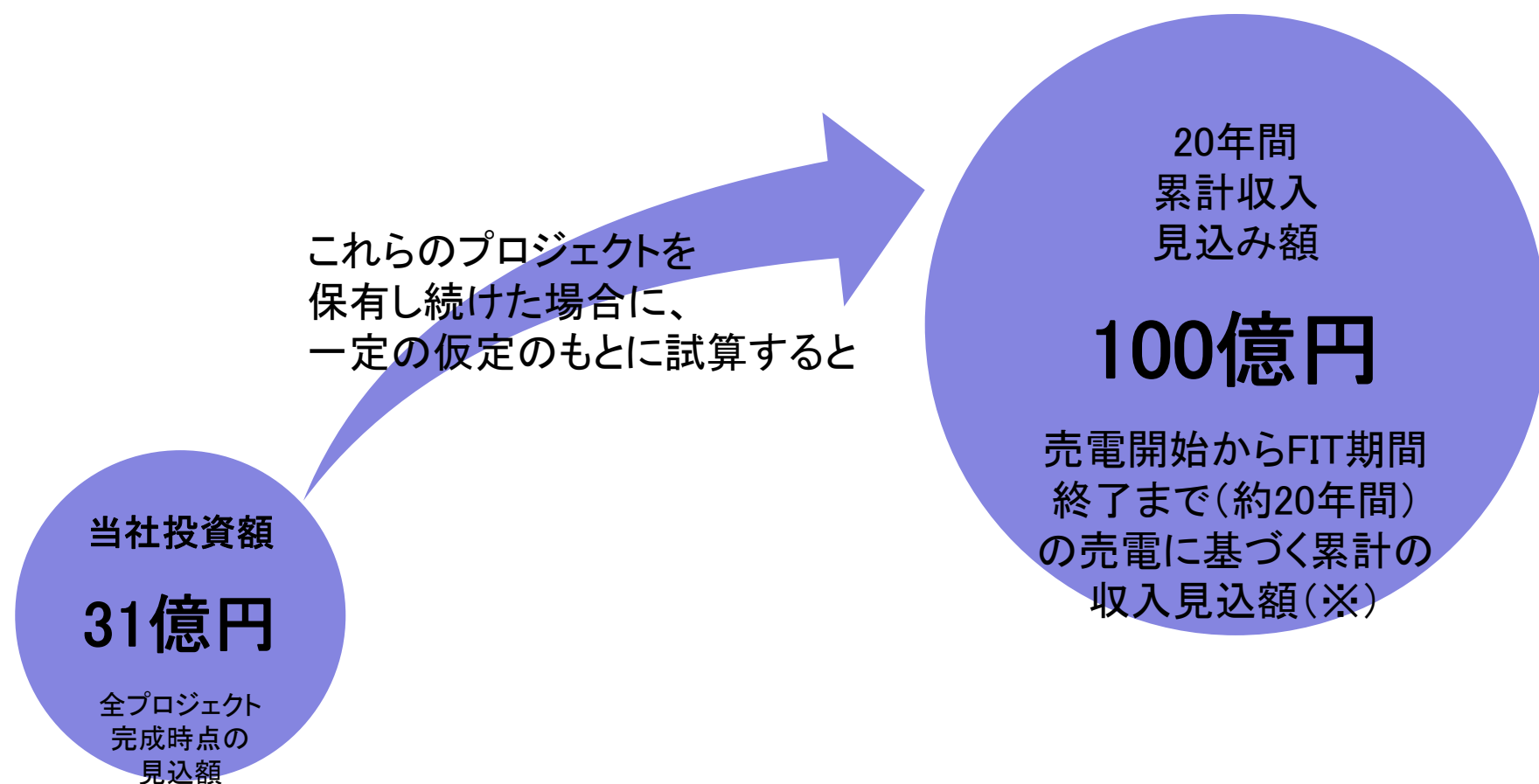
(※1) 2018年12月末時点で投資残高のある
長期保有予定プロジェクトの見込額の合計
(他社が運営する案件も含む)
調達額の内訳は、プロジェクト完成時の見込額



- ✓ 2018年12月末時点で、長期保有予定プロジェクトのプロジェクト総額は、合計374億円の見込み
- ✓ 従来連結基準では、プロジェクト総額のうち「当社出資額」31億円(8.3%)以外は、オフバランス(※2)
- ✓ 当社中期経営計画では、2021年3月末までに当社出資額を70億円まで積上げることを目指す。
仮に、今後投資するプロジェクトにおいても、既存の長期保有予定プロジェクトと同じ割合で資金調達を行うと仮定した場合、当社出資額70億円に対応するプロジェクト総額は843億円に拡大する。

(注) 中期経営計画とは2019年3月期から2021年3月期の中期経営計画です。なお、当該中期経営計画および本資料の記載事項はその策定時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

2018年12月末長期保有目的プロジェクトの 売電による累計収入見込み額の試算



※ 収入見込額＝売電収入から減価償却費や支払利息、その他売電やプロジェクト運営に係る各種経費を控除した後に分配される金額。

再生可能エネルギープロジェクト 投資案件一覧 (2018年12月末)



電源種類		発電所名/所在地	発電容量(MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)	プロジェクト総額
太陽光	1	熊本県球磨郡錦町	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
	2	愛知常滑Aソーラーパーク	2.3	売電中 (2016年8月売電開始)	36	約7.8億円
	3	一関市藤沢町太陽光発電所	2.3	売電中 (2016年9月売電開始)	36	約7.3億円
	4	ソーラーパークつくばみらい発電所	2.3	売電中 (2017年3月売電開始)	36	約8.5億円
	5	野間池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	6	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	7	御田神辺池ソーラー発電所	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	8	岩手一関ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	9	帯広ソーラーパーク	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円
	10	中王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	11	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	—
	12	東王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	13	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 (2018年10月売電開始)	36	—
	14	加美ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年10月売電開始)	36	約9.6億円
	15	三重県	2.4	建設・企画中	32	—
	16	紋別市弘道太陽光発電所	15.7	建設・企画中	40	約66億円
	17	北海道	2.0	建設・企画中	36	—
	18	三重県	24.4	建設・企画中	24	—
	19	福島県	2.4	建設・企画中	32	—
	20	福島県	2.7	建設・企画中	40	—
	21	熊本県	11.8	建設・企画中	36	—
合計95.8MW (うち当社出資持分 50.5MW)						
木質バイオマス		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	—	—
バイオガス	1	東京都羽村市	1.6	建設・企画中	39	—
	2	青森東北町発電所	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39	—
風力		三重県	最大25.2	建設・企画中	22	—

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

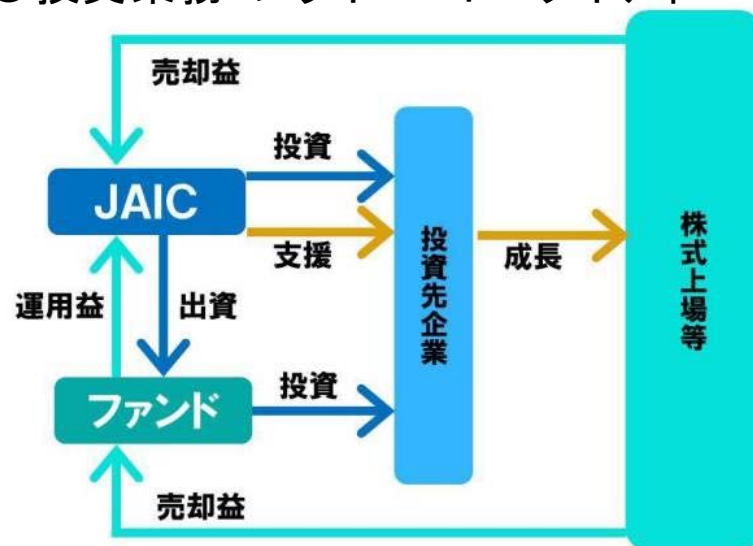
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

収益構造 - 投資業務



●投資業務: プライベートエクイティ

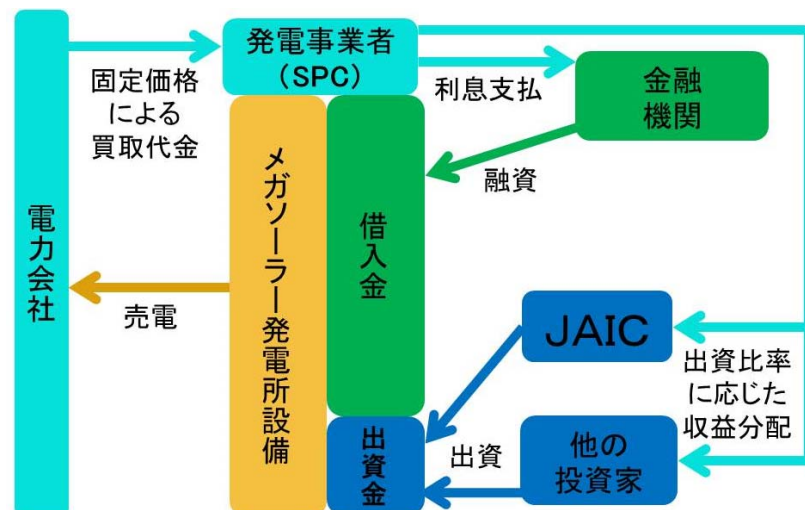


投資資金は、

- ・JAIC自身の手元資金からの拠出
- ・ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務: 再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・JAIC、他の投資家の出資金
 - ・金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

発電した電力は、固定価格で電力会社買い取られます

JAIC等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造 - ファンド管理業務



●投資事業組合等(ファンド)の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・経常的な管理・運営に対して受領する
管理報酬
- ・ファンドのパフォーマンスに応じて受領
する成功報酬

の2種類の報酬があります

会社概要(2018年12月末現在)



商号	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,426百万円
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード:8518）
従業員数	単体24名／連結41名
事業領域	・プライベートエクイティ投資 ・プロジェクト投資
役員	取締役会長(独立社外)川俣 喜昭 : 取締役会議長 代表取締役社長 下村 哲朗 取締役 大森 和徳 : 監査等委員長 取締役(独立社外) 安川 均 : 監査等委員 取締役(独立社外) 沼波 正 : 監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

IRに関するお問合せ先:

執行役員 岸本

管理グループ 丸山

IRに関するお問合せアドレス: ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。